

塩川小コミュニティスクール通信

第2回塩川小学校コミュニティスクール委員会を開催

12月13日（火）に、第2回塩川小学校コミュニティスクール委員会（学校運営協議会）が開催されました。広報部、評価部、学習支援部の活動の進捗状況の確認、成果と課題、今後の取り組みや次年度以降の活動について話し合いを行いました。



【評価部の実践・今後の予定】

- （1） 学校評価アンケートの結果について意見が出された。評価項目で、本来、児童や保護者が評価すべき内容と教職員が評価する内容との重複があるので、項目も見直しを図ってはどうかとの助言がなされた。
- （2） 評価項目に「いじめに関する内容」があると、学校の教育相談では引き出せなかった内容が保護者から見えることもあるという意見が出された。
- （3） 今後は他小学校のアンケートも参考にしながら項目を検討してほしい。

【広報部の実践・今後の予定】

- （1） 広報部4名で協力して「塩川小コミュニティスクール通信」の作成、校閲、各施設への依頼等を進めることができた。
- （2） 「塩川小コミュニティスクール通信」を保護者へ配付、地域へ回覧、計20か所の施設等へ掲示したことによって、コミュニティスクールの役割や活動等が広く周知されてきた。

【学習支援部 安全支援委員会の実践・今後の予定】

- （1） 登下校時の「ながら見守りボランティア」の募集が困難（高齢等）になってきているが、募集は継続していきたい。
- （2） 13区の通学路が変更となった。諏訪町通りは通行人数が減って、危険度が軽減された。
- （3） 今年度も通学路の環境整備、草刈り、パトロールなどを実施してきた。今後も通学路の環境整備を継続する。通学路のステッカーや看板設置を検討する。



【学習支援部 学習支援委員会の実践・今後の予定】

- （1） 茶道、祭囃子などで協力ができた。放課後学習会では児童も楽しんで学習しており、効果も表れてきているのではないかと。
- （2） 丸付けボランティアは学校側に呼びかけて体制づくりを行いたい。
- （3） 図書ボランティアに関連して、親子読書の感想紹介のとりまとめなど、手伝えることがあれば手伝いたい。

【その他】

- 委員会の中で、コロナ禍において常時マスクを着用していることの弊害はないか話し合われた。マスクで顔が隠れて感情が判断しにくい。給食時も会話を控え、子ども達はよく我慢している等の意見が出た。
- 今年、3年ぶりに「キラリ塩小デー」が開催された。コミュニティスクール委員も発表の様子を参観し、子ども達のがんばりに拍手を贈りました。



コミュニティスクール（学校運営協議会制度を導入した学校）の2つの機能

- ①「熟議」を通した学校運営の参画
- ②学校支援ボランティアなど「支援」による教育活動への参画

文責：広報部（五十嵐弘之・大島淑人・宗形武志・相良さつき）